

令和5年度 高等部 1～3年 (II課程 A類型) 職業 (家庭班) 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8 / 280	1学年 6人 2学年 0人 3学年 6人		実生活に役立つ特別支援教育 「ひとりだちするための進路学習」

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業生活に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人) よりよい将来の生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 勤労の意義を理解することができる。(高1段階：職業生活ア(ア)) (思判表力) 職業生活に必要な健康管理について考える事ができる。(高1段階：職業生活イ(イ)㊦) (学・人) 作業や実習などに達成感を得ることができる。(高1段階：職業生活ア(ウ))	(知・技) 先輩や周りの大人が社会の中ではたらく様子を知ることができる。 (思・判・表) 職業生活に必要な健康管理について考え発表することができる。	はたらくとは	・はたらく意義や将来の目標を考える。(思考力・判断力・表現力等に関する内容) ・就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。(知識・技能に関する内容)
	68	(知及技) 実習で使用する道具の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく使うことができる。(高1段階：職業生活イ(ア)㊦) (思判表力) 作業における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階：職業生活イ(イ)㊦) (学・人) 活動に見通しを持ち、自ら準備や片付けに取り組む意欲を持つ。(高1段階：職業生活ア(ウ))	(知・技) 道具の名称や使用方法を守って使用することができる。 (思・判・表) 作業を振り返り、自分の成長や課題について考えて発表することができる。 (主学) 活動に見通しを持ち、自分から準備や片付けに取り組もうとする。	布製品作り お菓子の調理	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を用いた布製品作り。(知識・技能に関する内容) ・衛生管理の必要性、清潔を保つ方法。(知識・技能に関する内容) ・学習の振り返り(自己の反省点や改善点から次の目標を確認する)(思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容)
	4	(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知る。(高1段階：情報機器の活用ア) (思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルについて考えることができる。(高1段階：情報機器の活用イ) (学・人) 情報セキュリティや情報モラルを守るよう生活を工夫することができる。	(知・技) パソコンや携帯利用時の情報セキュリティやモラルについて理解している。 (思・判・表) 情報セキュリティ及び情報モラルについて考えたことを発表することができる。 (主学) 情報セキュリティや情報モラルを守るよう生活を工夫しようとする。	情報機器の活用	・コンピュータや携帯の便利さや危うさを実例で学ぶ。(知識・技能に関する内容) ・対策方法を考え発表する。(思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容)
	80	(知及技) 作業の持続性、巧緻性を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階：職業生活イ(ア)㊦) (思判表力) 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階：職業生活イ(イ)㊦) (学・人) 作業の目標を達成することで達成感をえることができる。目標達成に向けて自ら活動に取り組むことができる。(高1段階：職業生活ア(ウ))	(知・技) 集中して作業したり、丁寧に作品を仕上げるができる。 (思・判・表) 危険な場所や状況に注意を払いながら作業を行う事ができる。機械の故障や不衛生な状況に気付いたら知らせたり、適切な行動を取ったりすることができる。 (主学) 目標達成に向けて活動に自ら取り組もうとする。目標を達成することで達成感を味わい次の作業に意欲を持つことができる。	布製品作り お菓子の調理	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を用いた布製品作り(知識・技能に関する内容) ・オープンを用いた焼き菓子作り(知識・技能に関する内容) ・衛生管理の必要性、清潔を保つ方法。(知識・技能に関する内容) ・学習の振り返り(自己の反省点や改善点から次の目標を確認する)(思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容)

2 学期	28	(知及技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解する。(高1段階: 産業現場等における実習ア) (思判表力) 実習での成果と課題や解決策を考えて発表することができる。(高1段階: 産業現場等における実習イ) (思判表力) 職業生活に必要な余暇の過ごし方について考える事ができる。(高1段階: 職業生活イ(イ)㊦) (学・人) よりよい将来の職業生活の実現に向けて生活を工夫しようとする。	(知・技) 職業現場で必要となることについて理解することができる。 (思・判・表) 実習の振り返りを行い、成果や次の実習での目標を立て発表することができる。 (主学) 卒業後の余暇の過ごし方に関心を持つ事ができる。	はたらくとは	・就労場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・就労場で必要な決まりの遵守、責任、協力、健康管理、安全、衛生について。 ・実習の振り返りと発表 ・卒業後の余暇の過ごし方
	4	(知及技) 表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱う事ができる。(高1段階: 情報機器の活用ア) (思判表力) コンピュータ等の情報機器を使い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1段階: 情報機器の活用イ) (学・人) 必要なことが相手に伝わるように工夫することができる。	(知・技) パソコンで文字や写真を使って作品の紹介ポスターを作ることができる。 (思・判・表) 作成したポスターを用いて作品を紹介することができる。 (主学) 作品の良さが相手に伝わるように文字や写真を工夫しようとする。	販売会に向けた取り組み 販売会のポスターやメニュー表を作ってみよう	・パソコンを用いてポスターやメニュー表を作成 (知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容)
3 学期	72	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。(高1段階: 職業生活イ(ア)㊱) (思判表力) 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現することができる。(高1段階: 勤労の) (学・人) 販売会準備に主体的に取り組み、工夫しようとする。	(知・技) 接客に必要な言葉使いを知り、練習することができる。 (思・判・表) 販売の時の役割を知り、自分と他者との役割について考え、協力できることを発表することができる。 (主学) 販売会の準備に主体的に取り組み、自分なりに工夫しようとしている。	販売会に向けた取り組み	・販売の接客練習 (知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容) ・ラッピング (知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容) ・買い物学習 (知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容) ・一年のまとめ (思考力・判断力・表現力、学びに向かう人間性に関する内容)
留意点 引継ぎ等	評価資料: 学習の様子、自己評価シート、作品				

令和 5年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程A類型）職業（農業班）普通科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
	1～3学年 25名		私たちの進路

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) (高1段階) ・草花や野菜の扱い方及び栽培に関わる知識について理解を深めることができる。 ・作業の持続性、巧緻性を高めることができる。 (思判表力) (高1段階) ・作業手順を理解し、必要な用具を適切に使用し、作業に取り組むことができる。 ・作業や実習において、自分の成長や課題について改善する意識を養う。 (学・人) (高1段階) 作業上の安全や作業の効率について考え、社会や他者との協働する意識を育てると共に貢献する喜びを体得する。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	96	(知及技) ・年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる(高1段階ア) (思判表力) ・職業の心得を理解する(高1段階イ) (学・人) ・勤労と協働【職業生活高1段階(ア)】	(知・技) ・職業の目的を理解し、服装を整えてミーティングに参加することができる。 (思・判・表) ・職業の目標を大きな声で読み合わせできる。 (主学) ・終わりのミーティングでは、本日の頑張りを自分の言葉で表現できる。	・授業開き ・職業について ・勤労と協働	・一年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 ・身なりや時間を守ることの大切さ等9つある作業学習の目標について理解する。 ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。
		(知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培を行う(高1段階) (思判表力) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ(高1段階) (主・力) ・情報機器の操作をすることができる。(高1段階Bア) ・学期を振り返り自己の反省点を発表する(思考・表現)(高1段階)	(知・技) ・収穫や調整、販売学習などの実体験を通して野菜や草花を教材として学ぶことができる。 (思・判・表) ・ハサミやスコップ、ヘラやレーキなどの道具を安全に使うことができる。 (主学) ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の栽培方法について調べることができる。 ・自身の感想を自分の言葉で表現することができる。	・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・1学期のまとめ	・季節の野菜や草花栽培(播種・鉢上げ・定植・収穫) ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 ・情報機器の基本的な操作を興味を持って学ぶことができる。 ・1学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
2 学期	112	(知及技) ・季節の野菜や草花を知り栽培を行う(高1段階) (思判表力) ・野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる(高1段階) (主・力) ・各行事の意義を理解し学びを取り入れた栽培を行う(高1段階)	(知・技) ・2学期に栽培する野菜や草花について教材として触れることができる。 (思・判・表) ・重さや個数など定められた分量を理解し、授業内容に沿った行動をとることができる。 (主学) ・行事の目的を理解し、目的達成に向けて準備を進めることができる。	・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・各行事に向けた草花・野菜栽培	・季節の野菜や草花栽培(播種・鉢上げ・定植・収穫) ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 ・学習発表会、卒業式をイメージし野菜や草花の栽培を行う。
		(知及技) ・情報機器の操作を応用することができる。(高1段階Bア) (主・力) ・日頃使用している農機具を丁寧に洗ひ手入れを行うことができる。(高1段階) (思判表力) ・学期を振り返り自己の反省点を発表する(高1段階)	(知・技) ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の仲間や栽培方法について調べることができる。 (主学) ・ハサミやスコップ、ヘラやレーキなどの道具を安全に使うことができる。 (思・判・表) ・自身の感想を自分の言葉で表現することができる。	・情報機器の活用 ・農機具の手入れ ・2学期のまとめ	・栽培する作物について、タブレット端末を用いて調べることができる。 ・ヘラ、スコップ、ハサミ、畝立て機など日頃使用している道具の洗浄を行う。 ・2学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。

3 学期	72	<p>(知及技) ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ(高1段階) (思判表力) ・次年度栽培する作物の播種・畑の整備を通して職業として準備することの重要性に気付く。(人間性)(高1段階) (主・力) ・情報機器の操作を応用することができる。(高1段階Bア) ・学期を振り返り自己の反省点を発表する(高1段階)</p>	<p>(知・技) ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉使いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えることができる。 (思・判・表) ・1年間関わった農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動することができる。 (主学) ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の栽培方法について協力して調べ、伝え合うことができる。 ・自身の感想と卒業や進級など今後の見通しを自分の言葉で表現することができる。</p>	<p>・販売学習にむけて ・次年度の準備 ・情報機器の活用 ・1年間のまとめ</p>	<p>・接客用語など言葉使いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 ・野菜や草花の播種や鉢上げ、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。 ・タブレット端末を用いて調べたことを相手に伝えることができる。 ・1年間を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程・A類型） 職業（木工）科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1学年9名 2学年9名 3学年9名		私たちの進路

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。(高1段階) (学・人) 将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	16	(知及技) 勤勞の意義を理解することができる。(高1段階職業生活ア(ア)) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、他者や役割について考えることができる。(高1段階職業生活ア(イ)) (学・人) 作業や実習に達成感を得て、主体的に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 生活等から働く意味や意義を理解することができる。 (思・判・表) 社会の仕組みや他者との関わりを考えることができる。 (主学) 成功体験から、自分ですすんで行動ができる。	・仕事とは（生活や社会について）	・動画教材等やワークシートを活用 ・職業の心得の理解 ・清掃活動 ・人との距離感 ・余暇活動 ・面接や履歴書について
	72	(知及技) 木工具の名称や使用方法を理解することができる。(高1段階職業生活イ(ア)㉔) (思判表力) 工具を正しく使用し安全に作業に取り組むことができる。(高1段階職業生活イ(イ)㉔) (学・人) 工具類の使用について技術の向上を図ることができる。(高1段階)	(知・技) 基本的な工具の名称と、使用手順を理解することができる。 (思・判・表) 工具・機械の扱い方や危険度を理解し使用することができる。 (主学) 正しい使用方法や材料の仕上がりを意識して取り組むことができる。	・製品製作	・のこぎり、糸鋸、ヤスリがけ等の板の加工 ・ベンチ、本棚、小物等の製作
	8	(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知ることができる。(高1段階情報機器の活用ア) (思判表力) 特性や性能を知り、操作を行うことができる。(高1段階情報機器の活用ア) (学・人) 意欲的に情報機器を活用することができる。(高1段階)	(知・技) 情報に関することについて、利便性や危険性を知ることができる。 (思・判・表) 情報機器の使い方を知り、目的に合った使用ができる。 (主学) 学習活動の中でも積極的に活用することができる。	・スマホやiPad等の使用について	・iPadの活用方法 ・余暇活動等でのスマホ使用の注意点
2 学期	18	(知及技) iPad等のアプリについて知ることができる。(高1段階情報機器の活用ア) (思判表力) 特性や性能を知り、操作を行うことができる。(高1段階情報機器の活用ア) (学・人) 意欲的に情報機器を活用することができる。(高1段階)	(知・技) アプリの特性や操作を知ることができる。 (思・判・表) 情報機器やアプリの使い方を知り、目的に合った使用ができる。 (主学) 学習活動の中でも積極的に活用することができる。	・製品のデザインや管理	・製品開発やデザイン ・発表の補助ツール ・記録等のツール ・撮影時のマナー ・ポスター作成
	94	(知及技) 作業の確実性や持続性、巧緻性について理解することができる。(高1段階職業生活イ(ア)㉔) (思判表力) 作業場の安全や衛生及び作業の効率について考え改善を図ることができる。(高1段階職業生活イ(イ)㉔) (学・人) 作業効率を考え取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 作業の確実性等と、製品や材料価格との関係を理解することができる。 (思・判・表) 効率化を意識して取り組むことができる。 (主学) 効率化を目指して工夫することができる。	・製品製作（効率化と協働） ・職場の仕組みや環境	・製品製作の工程分担 ・製作時間について ・仕事量や効率化について ・コグトレ ・態度や姿勢について
3 学期	64	(知及技) 社会の仕組み等について理解することができる。(高1段階職業生活イ(イ)㉔) (思判表力) 接客など販売等に関わる技術について考えることができる。(高1段階職業生活イ(イ)㉔) (学・人) 接客方法等についての知識を実践することができる。(高1段階)	(知・技) 販売や給料を理解することができる。 (思・判・表) 場に応じた言葉遣いや態度を考えることができる。 (主学) お客を相手に丁寧な言葉遣い等で対応することができる。	・販売学習	・販売会場のレイアウト計画、設営 ・製品の販売 ・接客態度 ・技能検定について
	8	(知及技) 成果や他者との関わりについて理解を深めることができる。(高1段階職業生活イ(イ)㉔) (思判表力) 成長や課題についてまとめ、発表することができる。(高1段階職業生活イ(イ)㉔) (学・人) 将来の自分を前向きな態度や考えで捉えることができる。(高1段階)	(知・技) 成果等についての要因を考え理解することができる。 (思・判・表) 自分の考えをまとめ、発表することができる。 (主学) 具体的に将来をイメージし、目的意識をもつことができる。	・年間のまとめ（課題解決）	・製品の反省と改善 ・1年間の成長と反省、改善 ・発表

留意点
引継ぎ等

令和5年度 高等部 1年 (II課程 A類型) 職業(窯業班) 年間指導計画

単位数／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
	1年生8名		ひとりだちするための進路学習 —あしたへのステップ—

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 陶土や釉薬の扱い方および陶器づくりに関る知識について理解を深めることができる。(高1段階) 作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じた作業をすることができる。(高1段階) (思判表力) 作業手順を理解し、安全かつ効率よく作業ができるよう工夫して取り組むことができる。(高1段階) 将来の職業生活を見据え、自らの成長や課題について評価・改善する意識を養うことができる。(高1段階) 自ら体調を管理することができる。(高1段階) (学・人) 他者と協働して効率よく作業をし、必要に応じて相談したり、助言を得たりして課題を解決することができる。(高1段階) 自らの働きかけにより地域社会に貢献できる喜びを体得し、働くことへの意欲を持つことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	96	(知及技)(思判表力) 粘土の特性を理解し、粘土の再生方法がわかる。(高1段階) 皿などの成型工程を知り、手順を確認しながら作業を進めることができる。(高1段階) 使用する機械の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。(高1段階) (思判表力)(学・人) 年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる。(高1段階) 学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高1段階) (思判表力)(学・人) 働くために必要なこと、職業の心得を理解することができる。(高1段階) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。(人間性)(高1段階)	(知・技) 土砕きを適正に行えている。泥水を適正に作れている。飾作業が適正に行えている。脱水作業が適正に行えている。土練りが適正に行えている。成型が適正に行えている。乾燥作業が適正に行えている。機械を安全に扱えている。 (思・判・表) 次にを行うことが何なのか理解できている。わからないことをわからないままにせず尋ねている、尋ねようとしている。物怖じせずに発表できている、しようとしている。 (主学) 業務日誌が適正に記入されている。	粘土づくり 陶器作り(皿、鉢、コースターなど) 機械の安全な取り扱いについて 授業開き 職業について 勤労と協働 1年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 1学期のまとめ	粘土の再生作業、陶器の成型作業(すいひ作業・土練り・成型・焼成) 土練機や攪拌機、グラインダーなど機械の種類と使用方法を知り、実際に使用してその危険性と安全な使用方法を学ぶ。 1年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 身なりを整えることや時間を守ることの大切さなど、7つある職業の目標を知り理解する。 仕事の意義を理解し、作業を通じて協働作業の大切さを学ぶ。 1学期を振り返り、自己の反省点を抽出して皆の前で発表を行う。
2 学期	112	(知及技)(思判表力) さまざまな陶器の陶製方法を知り、手順に沿って作業を行うことができる。(高1段階) 釉薬について理解し、丁寧に作業を進めることができる。(高1段階) (思判表力)(知及技) 受注した商品の納期を考えつつ完成度の高い陶製品をつくることができる。(高1段階) (思判表力) 客が購入したいと思う商品を考えることができる。(高1段階) 学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高1段階) (学・人)(知及技) 日頃使用している道具や機械類の手入れを行い整理整頓することができる。(高1段階)	(知・技) 成型が適正に行えている。乾燥作業が適正に行えている。丁寧に作業できている。完成度を上げている、上げようとしている。 (思・判・表) 納期の把握ができている。マーケティング活動が適正に行えている。 (主学) 業務日誌が適正に記入されている。後片付け、手入れ、整理整頓ができている、やろうとしている。	粘土作り 陶器作り(皿、椀など) 陶器作り(注文商品、コラボ商品) 行事に向けた陶器作り 用具の手入れ 2学期のまとめ	粘土の再生作業、陶器の成型作業(すいひ作業・土練り・成型・釉薬かけ、焼成) 商品づくり(各種コラボ商品、注文商品) 陶製品づくり(みさき市や学習発表会の販売学習に向けた陶製品作り) 日頃使用している道具の手入れなどを行う。 2学期を振り返り、自己の反省点を抽出して皆の前で発表を行う。
		(知及技)(思判表力) 接客の仕方が理解でき、実践できる。(高1段階) お金の計算ができる。(高1段階) 行事の意義を理解し、習得した知識や技能を活用して、相手が喜ぶ陶製品をつくることことができる。(高1段階)	(知・技)(思・判・表) 接客ができる。やろうとしている。 お金の計算ができる。やろうとしている。 陶製品づくりに真摯に取り組める。取り組もうとしている。 学年を振り返り、発表することができる。やろうとしている。	接客用語の練習、電卓やレジスターを使用した計算練習 陶製品作り 用具の手入れ	接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ 習得した知識や技能を活用し、行事の意義を理解し、相手が喜ぶ陶製品を作る。 日頃使用している用具の手入れ。 作業場の整理整頓。 清掃活動。

3 学 期	72	<p>学年を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高1段階)</p> <p>(学・人) (知及技) 日頃使用している用具の手入れ、作業場の整理整頓、清掃を行うことができる。(人間性) (高1段階)</p>	<p>(主学) 業務日誌が適正に記入されている。 後片付け、手入れ、整理整頓ができて、やろうとしている。</p>	<p>3学期のまとめ 1年間のまとめ</p>	<p>3学期を振り返り自己の反省点を発表する。 1年間の学習を振り返る。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程 B類型） 職業（チャレンジ班） 年間指導計画

単位数 ／配當時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
6/210	高等部1～3年（27名）		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を体験し、身に付けることができる。(高1段階)</p> <p>(思判表力) 意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階)</p> <p>(学・人) 作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考えることができる。(高1段階)</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	<p>(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(工)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア)</p> <p>(思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ)</p> <p>(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) ・働くことの目的などを理解することができる。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。</p> <p>(思・判・表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。 ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。</p> <p>(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。</p>	<p>・勤労の意義</p> <p>・情報機器の活用</p> <p>・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 小物作り(紙、布、粘土、アイロンビーズ等) 洗濯や清掃</p> <p>・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策</p>	<p>・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。</p> <p>・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や情報収集を行う。</p> <p>・季節の野菜の栽培。紙、布、粘土、ビーズ等を使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付け等を行う。</p> <p>・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。</p> <p>・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。</p>
2 学期	84	<p>(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(工)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア)</p> <p>(思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ))</p>	<p>(知・技) ・働くことの目的などを理解することができる。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。</p> <p>(思・判・表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。</p>	<p>・勤労の意義</p> <p>・情報機器の活用</p> <p>・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 小物作り(紙、布、粘土、アイロンビーズ等) 洗濯や清掃</p> <p>・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策</p>	<p>・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。</p> <p>・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。</p> <p>・季節の野菜の栽培。紙、布、粘土、アイロンビーズ等を使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。</p> <p>・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。</p> <p>・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。</p> <p>・学習発表会に向けた製品作り</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。 		
3 学 期	54	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・ 作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・ 作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・ iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・ 作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・ 職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・ iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働くことの目的などを理解することができる。 ・ 作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。 ・ 作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。 ・ iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。 ・ 作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。 ・ 職業生活に必要な健康管理について考えることができる。 ・ iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労の意義 ・ 情報機器の活用 ・ 作業内容 ミーティング 野菜の栽培 アクセサリ作り 紙製の雑貨作り 洗濯や清掃 ・ 余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・ コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。 ・ 季節の野菜の栽培。紙や布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。 ・ 校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。 ・ アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・ 学習発表会に向けた製品作り
	留意点 引継ぎ等				

令和5年度 高等部 2, 3年(職業 トータルサービス班) 普通科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
	2・3学年 15名		実生活に役立つ特別支援教育 「ひとりだちするための進路学習」

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにすること。(高1段階) (思判表力) 将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。(高1段階) (学・人) よりよい社会生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得すること。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規 準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㊦】 (知及技) ・情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる【高1Bア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㊦】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (知・技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 (思・判・表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思・判・表) ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる	・職業について ・洗車、校内外の清掃活動、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの意味、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに適した言葉使いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業(車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ)、清掃活動(除草、トイレ清掃、校内外の清掃活動)、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前(自在ほうき、ぞうきん、乾式モップ、掃除機、ホース、プロアー)を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 (知及技) iPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
2 学期		(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㊦】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 (知及技) ・技能検定(ビルメンテナンス)への取り組みを通して働く上での基本的なマナーとチャレンジする心を養う。【Aイ(ア)】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㊦】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。 (知・技) ・情報機器を用いて実習の成果をポスターにまとめることができる。 (知・技) ・技能検定(ビルメンテナンス)の練習に取り組むことができる。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 (思・判・表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思・判・表) ・2学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる	・職業について ・洗車、校内外の清掃活動、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定への取り組み ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・2学期のまとめ	(知及技) ・働くことの意味、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに適した言葉使いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業(車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ、清掃活動(除草、トイレ清掃、校内外の清掃活動))、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前(自在ほうき、ぞうきん、乾式モップ、掃除機、ホース、プロアー)を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 (知及技) ・実習の様子画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定(ビルメンテナンス)の乾式モップ、モップ、机ふきの基本的な動作を確認する。 ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・2学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。

3 学 期	<p>(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】</p> <p>(知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】</p> <p>(知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)⑤】</p> <p>(知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】</p> <p>(知及技) ・技能検定(ビルメンテナンス)への取り組みを通して働く上での基本的マナーとチャレンジする心を養う。【Aイ(ア)ア】</p> <p>(学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】</p> <p>(思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】</p> <p>(思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)⑦】</p>	<p>(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。</p> <p>(知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。</p> <p>(知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に扱うことができる。</p> <p>(知・技) ・情報機器を用いて実習の成果をポスターにまとめることができる</p> <p>(知・技) ・技能検定(ビルメンテナンス)の練習に取り組むことができる。</p> <p>(主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。</p> <p>・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 ・一年を振り返り、成長と課題点を確認する。</p>	<p>・職業について</p> <p>・洗車、校内外の清掃活動、丁合作業</p> <p>・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて</p> <p>・情報機器の活用</p> <p>・技能検定への取り組み</p> <p>・毎時間の作業の振り返りと自己評価</p> <p>・校内・現場実習に関すること</p> <p>・2学期のまとめ</p>	<p>(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ることに場に応じた言葉使いなど社会人としての基礎を理解し身につける。</p> <p>(知及技) 洗車作業(車体洗浄・ワックスかけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ)、清掃活動(除草、トイレ清掃、校内外の清掃活動)、丁合作業</p> <p>(知及技) ・作業道具の名前(自在ほうき、ぞうきん、乾式モップ、掃除機、ホース、ブロアー)を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。</p> <p>(知及技) ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。</p> <p>(主・学) ・技能検定(ビルメンテナンス)の乾式モップ、モップ、机ふきの正確性を高める。</p> <p>・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。</p> <p>(思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。</p> <p>(思判表力) ・3学期の振り返りを行うことで次への目標と見通</p>
留意点 引継ぎ等				